

2015年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	デジタル制御						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択必修科目(組込みシステムコース) 選択科目(電気エネルギーコース) 選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	平野 剛						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・連続系と離散系について説明できる。(C1) ・標本化周期選定法について説明できる。(C1) ・シーケンス制御について説明できる。(C2) ・マイコンを利用した制御プログラムが書ける。(C2) 						
日程と内容	4/13 導入教育 4/20 連続系と離散系 4/27 標本化定理 5/2 デジタルフィルタ I 5/11 デジタルフィルタ II 5/18 FF、FB制御 5/25 PID制御 6/1 臨時試験 6/8 シーケンス制御 6/15 入出力制御 6/22 制御実習(LED点灯) 6/29 制御実習(デジタル入力) 7/6 制御実習(アナログ入力) 7/13 総合演習 7/18 定期試験 7/27 定期試験の解説						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	到達目標は概ね達成できたが、基礎的なプログラミング能力が低いので制御プログラムの一部が書ける程度にしかなかった。						
反省点	昨年度よりもプログラミング内容を整理して分かりやすくしたためレポートの完成度は上がった。また比較的少人数であったため学生の理解度に見ながら授業をすることが出来たが、最終的な合格率を上げることは出来なかった。						
来年度の計画	マイコンボードを用いた制御プログラム作成は概ね好評であったため継続するが、なるべく全ての学生が最後までプログラムを完成できるように課題内容を改善する。また制御工学の履修前に受講するため、FF、FB制御を理解させるために制御シミュレーションの結果を講義中にリアルタイムに見せることで、理論だけでなく制御の効用を実感できるようにする。						
授業評価アンケートに対するコメント	「内容を理解できたか」、「興味を持つようになったか」が3.9と最も低く、それ以外の項目は4以上であった。総合評価も8.2ではあったため、概ね学生は満足できたと思われる。						
履修登録者数	23名	定期試験受験者数	20名	合格者数	13名	合格率	65%